

書道で感動！親子でわくわく体験

1 ねらい

紙すき体験や書道体験を通して、達成感や創造力、自己肯定感の向上を図るとともに、日本の伝統文化や芸術の素晴らしさを体感させる。また、保護者に対し、体験活動の重要性を啓発するとともに、活動の様子や成果を発信することを通して、広く普及・啓発を図る。

2 実施日

令和6年1月21日（日）9：30～15：30

3 日程

日程	内容
9:00	受付
9:30	開講式
9:40	紙すき体験（A班）、落款作り（B班）
10:40	紙すき体験（B班）、落款作り（A班）
11:40	書道パフォーマンス 講師：愛媛県立川之石高等学校書道部
12:00	昼食・休憩
13:00	交流書道教室、作品作り 講師：愛媛県立川之石高等学校書道部 ・前半は書初め作品作り ・休憩をはさんで、後半はすいた紙に「今年の漢字」人文字作品作り
15:30	閉講式



4 活動場所

国立大洲青少年交流の家

5 参加対象・募集人数

小学1～中学3年生とその保護者

6 参加人数

14家族（35名）

7 活動内容

午前は、紙すき体験と落款作りを2班の交代制で行った。初めて体験する親子も昨年のリピーターの親子も、集中して熱心に取り組む姿が印象的だった。作った落款は「今年の漢字」作品に押印し、漉いた紙は後日参加者に郵送した。班活動後には、愛媛県立川之石高等学校書道部による書道パフォーマンスを観覧した。完成した作品を鑑賞するだけでなく、創り上げていく過程を見ることができ、参加者を魅了した。

午後からは書道部員による交流書道教室（書初め作品や今年の漢字作品）を行った。高校生に

指導してもらったことを活かして何度も練習し、親子で交流しながらプログラムを体験することができた。

事業後、交流書道教室の作品展を令和6年2月1日から29日まで、国立大洲青少年交流の家の本館2階廊下にて開催した。



8 参加者の声

事業後アンケート結果

*満足：97.1% *やや満足：2.9% *やや不満：0.0% *不満：0.0%

○日頃こんなに集中する機会がなく、家庭ではできないことを親子で体験することができ、良い経験をさせてもらいました。

○今後も継続して欲しいです。

○難しそうに思うことが多かったけれど、やってみると「できる!」「楽しい!」が親子共にいっぱいでした。

○日本の文化を伝えていきたいと思いました。

○小学6年生までの対象事業が多いので、中高生も参加できる事業も実施してほしいです。

9 事業の成果と課題

愛媛県立川之石高等学校書道部に講師をしていただくことで、参加者に書道の素晴らしさや楽しさをより実感してもらうプログラム提供ができた。交流書道教室では高校生が参加者と交流を深めながら優しく熱心に指導することで、子供だけでなく大人も書道の魅力を再確認し、興味や関心を高めることができた。また、書道部員にとっても学びの場となった。

運営においては、昨年の反省を活かし、紙漉きをするまでの準備を事前に行い、当日は工程を実技で見せる等して、紙漉きの時間を確保した。昨年の担当者との情報共有を事前に図り、反省点を活かすことで、限られた時間の中で効率よく、工夫されたプログラムの提供を行い、参加者の満足度が高い事業運営ができた。

募集人数に対して応募が満たさなかったため、広報エリアを検討する必要がある。さらに、事業アンケートにて、書道事業の継続を望まれる声を多く受けたので、今後の検討材料にしたい。

(担当：事業推進係主任 三好 唯)

